

育教の児幼

昭和六年一月

ひなた

ひなた。——そこは庭でも廊下でも、なんど、やわらかく人をひきつけることか。

ひなた。——それは子どもでも大人でも、なんど、うつとりと人を睦ませることか。

ひなたには蔭がない。冷たさがない。明るく、暖かく、人の心を解き又溶く。自分への不用意、人への親しみ。眠りもせず、醒めすぎもせず。離れもせず、抱きしめもせず。たゞ、おつとりと、我れもなく他もない。

胸をあけて、肩を寄せて、足を投げ出して、手を組んで、のんびりと打ち集ふひなた。——幼稚園のひなた。ひなたの幼稚園。